

令和3年12月21日

樹木医 各位

一般社団法人日本樹木医会熊本県支部
一般社団法人熊本県樹木医会
支部長・会長 松本 雄介

令和4年1月度例会および新年会のご案内

師走の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、令和4年1月度例会と新年会を下記の通り開催いたしますので、お忙しい最中とは存じますが、ご出席をお願い致します。

新型コロナウイルスのオミクロン株による感染拡大等、場合により中止になることもありますのでご理解とご容赦のほどよろしくお願い申し上げます。

記

日 時 : 令和4年1月22日(土)

例会 15:00~17:00

新年会 17:30~19:30

(新年会の個人負担は5,800円です。)

場 所 : 熊本テルサ(熊本市水前寺) TEL 096-387-7777

出欠の確認: 設営の都合上、1月11日(火)までに、浏上まで必ずご連絡下さい。※厳守

連絡先: FAX 0966-67-1573

携帯電話: 090-9560-8211

PCアドレス sinkohen@violin.ocn.ne.jp

例会内容 : 1) 活動報告・連絡・情報提供

2) 研修: 「昆虫と温暖化」 奥村樹木医

「行政職員からみた緑地管理」 緒方樹木医

3) その他

令和4年1月度 例会に 出席します 欠席します
新年会に 出席します 欠席します

氏名 _____

一言の通信欄

.....
.....

プログラム

15:00~16:00

| | |
|-------|---------------|
| 科目名 | いまさら聞けない樹木医講座 |
| 講師名 | 奥村 正美 氏 |
| 所属・役職 | 日本樹木医会 熊本県支部 |

講義内容

タイトル

『昆虫と温暖化』

事務局より

奥村さんの昆虫のはなし。

記憶に新しいところではやはり、

「フンコロガシがいなかったらオーストラリアはなかったかも」ですよね。

今回も目からウロコの講座になることでしょう。

わかりやすい内容とやさしく軽妙な語り口調は、知識欲を満たすこともですが、受講者の記憶に残るというプレゼンの基本を教えてくれているようです。

タイトルはテッパンの『虫と環境』。

奥村さんは熊本市の生物多様性推進会議委員です。そのお仕事は生物多様性の啓蒙。昆虫は植物とともに暮らしています。その世界は人類の未来を映すと言っても過言ではないと思います。

我々樹木医は、昆虫が教えてくれる人類の未来予想図を感じ取って考える必要があるのではないのでしょうか。

プログラム

16:00~17:00

| | |
|-------|---------------|
| 科目名 | いまさら聞けない樹木医講座 |
| 講師名 | 緒方 聡美 氏 |
| 所属・役職 | 日本樹木医会 熊本県支部 |

講義内容

タイトル

『行政職員から見た 緑地管理』

事務局より

いまホットな話題です。

税金で植えられ税金で管理される樹木。

こんな話をよく聞きます。

「街路樹の落葉の世話は大変。いっそ伐採してほしい。」

「道路のイチョウは黄葉が美しい。だからその時期がとても楽しみ。」

「人口減少時代。緑地の維持管理費がいつまで捻出できるか。」

「緑地の質は自治体をうつす鑑。きれいな街には人が増え豊かになる。」

まさに、こちらを立てればこちらがたたず。

緒方さんは自治体職員として公平公正な立場で業務に携わっておられます。

現役の行政職員から見た緑地管理とは。

とても興味をそそるタイトルだとは思いませんか。

我々樹木医は、クライアントが自治体で扱う樹木は公共樹木が圧倒的に多いです。

今後の活動に大いに参考になるのではないのでしょうか。